

「働き方改革宣言トップミーティング 2018 in 軽井沢」開催

平成 30 年 9 月 28 日(金)、軽井沢・ホテル鹿島ノ森において「働き方改革宣言トップミーティング 2018 in 軽井沢」が開催され、会員企業の経営層を中心に 17 名が参加した。

働き方改革委員会(委員長:福永哲弥・SCSK(株)取締役 専務執行役員)は、昨年 4 月に JISA が策定・公表した「働き方改革宣言」の内容の具現化に向けた取り組みを行っている。今回 2 回目となる本ミーティングはそのような活動の一環として企画したもので、会員企業の経営者が集い、日常から離れた清々しい環境でリフレッシュしながら働き方改革についてディスカッションし、働き方改革の動向や「働き方改革宣言」の趣旨・意義等を共有することを目的に開催した。

前半は、同志社大学大学院 総合政策科学研究科教授の中田喜文氏より「IT エンジニアの働き方と生産性」と題する基調講演が行われた。中田氏は、IPA プロジェクトとして実施したソフトウェア技術者の国際比較調査から、日本のソフトウェア技術者の生産性や職場環境・労働時間の状況を明らかにするとともに、日本のソフトウェア技術者について、個人、職場環境、マネジメント、外部環境の 4 要因から成る生産性と職務満足モデルについて説明した。

後半は、働き方改革委員会が実施を計画している「ワクワクする働き方」に関するアンケート調査について、福永委員長を中心にディスカッションを行い、「経営者が実施しやすく効果的な施策がわかるような調査をしたい」「プロジェクト属性など今の立ち位置で何がワクワクの要因となっているかを確認できる調査をしたい」「ワクワクしている人が自社の経営状況や経営戦略を把握しているかどうか調査したい」等、多岐にわたる論点について経営層の視点から活発な発言があった。

ミーティング終了後には懇親会を行い、なごやかな雰囲気の中、引き続き意見交換が行われた。

(田畑)